

春から高校3年生、2年生（現高校2年生、1年生）の皆さんへ

「推薦入試」の落とし穴に要注意!

私立大学の入試は大きく3つに分けられます。

- 1.推薦型選抜／学校からの推薦書が必要。〈指定校推薦〉と〈公募制推薦〉がある。
- 2.総合型選抜／面接やプレゼンテーションなどでアピールする自己推薦タイプ。
- 3.一般入試／学力テストの結果が合否判定につながる（一般選抜）。

そのうち〈推薦型選抜〉と〈総合型選抜〉をここでは便宜上「推薦入試」と呼びます。

実は推薦入試には落とし穴があります。今回は、この落とし穴に落ちることなく高いレベルの志望校に現役合格する秘訣をお伝えしたいと思います。しっかり読んで「推薦入試は大学への近道」という誤解をひっくり返してください。では、高校館の教室でお会いしましょう。

さあ、
ひっくり
返そう。



落とし穴

1

〈難関大学〉の推薦入試は やっぱり難関!

〈推薦型選抜〉には、高校を指定した〈指定校推薦〉と、どの高校からでも応募できる〈公募制推薦〉があります。関関同立など難関校の〈指定校推薦〉は求められる評定値も高く超難関。〈公募制推薦〉は実施していても枠が少なく難関です。また〈総合型選抜〉も試験内容がユニークなためにハードルが高く、狭き門になっています。難関校の推薦入試一本に絞って失敗したとき、あわてて一般入試の対策をしても間に合いません。

落とし穴

2

〈年内合格〉に飛びつくと 大学のレベルが下がる!

高3になって受験勉強が始まると、誰もがちょっとした「スランプ」におちいります。そんな時に「年内に合格できる!」という推薦入試の誘いに乗ってしまうケースが多いのです。先ほど述べたように難関校の推薦入試は思いつきで合格できるものではありません。結局のところ推薦入試で合格しやすいのは、あなたが目指すべき大学よりも難易度の低い大学になってしまうのです。

落とし穴

3

推薦入試で入学後に ドロップアウト 〈中退者〉が多い?!

推薦入試に合格しても、また落とし穴が!合格してから高校卒業=大学入学までの期間をのんびり過ごして学力が下がり、大学の授業で落ちこぼれてしまうのです。たとえ難関校の推薦入試でも同じです。最悪のケースでは大学を中途退学してしまうことも…。一般入試の競争に勝ち抜いて入学してくる学生に負けないよう、大学の授業に備えた勉強を高校卒業まで続ける必要があります。

推薦入試に失敗…。

それからでは、
一般入試に間に合わない!

年内に合格を

決めたい心理が、
受験大学のレベルを下げる!

合格後にも

勉強し続けないと
大学の授業についていけない!

大学入試を知りつくした高校館の推薦入試対策とは?



一般入試で 現役合格をめざせ!

高校館は基本的に一般入試で合格をめざします。大学が求めるレベルの学力を試される一般入試を突破することが、大学生活はもちろん、長い人生を支える「自信」になると確信しているからです。高校館では第一志望の大学に一般入試で合格するために各人に最適の計画を立て、プロ講師のわかりやすい指導で徹底的に学力を高めます。その成果が、地域ダントツNo.1の現役合格実績にあらわれています。

現役合格地域No.1!
合格実績はこちら!



難関大学の推薦入試に チャレンジしたい人は…

難関大学を推薦入試でねらいたい!そんな希望にもしっかり応えます。そこで最重視しているのは評定値を高めるために必要な定期テスト対策。各高校のテスト傾向を踏まえた特別な指導で成績UPをめざします。受験にあたっては提出が必要な書類の確認・添削、小論文の添削、面接対策などにも蓄積したノウハウをフル活用。もしものときに再チャレンジできるよう、一般入試に向けた対策も行います。

現高校3年生の高校館生の推薦入試合格実績

- 早稲田大学 ●慶應義塾大学
- 同志社大学 ●関西学院大学 ●関西大学
- 立命館大学 ●近畿大学 など



推薦入試合格後に ドロップアウト 中途退学しないために

推薦入試に合格しても決して気をゆるめてはいけません。高校館では推薦入試合格者向けに特別な大学入学準備プログラムを用意しています。理系・文系ともに推薦入試で入学した学生に求められる学力水準は一般入試と同じ。大学のハイレベルな授業についていける基礎学力をしっかり固めた上で受講生を大学へと送り出します。TOEFLや英検対策などの資格取得についての支援も充実しています。

推薦入試〈合格者向け〉の
特別プログラムを用意しています。

あなたの〈第一志望〉現役合格を、高校館は決してあきらめない。